

鳥取県の地震

2025年（令和7年）11月
鳥取地方気象台

目 次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0 以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	3
(3) 地震・津波の知識	
南海トラフ地震臨時情報について	4

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

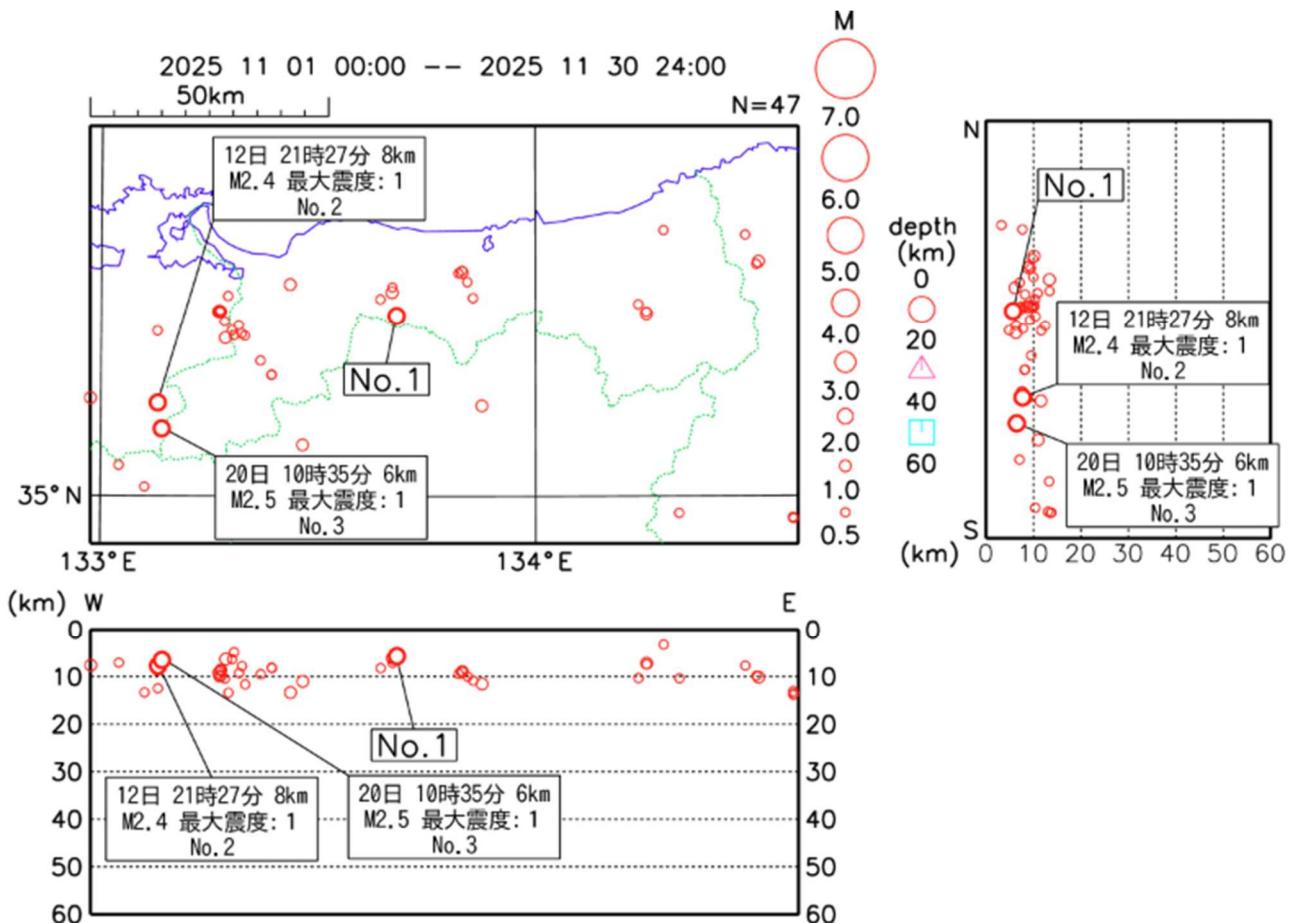
- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがあります。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/divos_monthly.html

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概況]

2025年11月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（前月も1回）でした。

25日18時01分 熊本県阿蘇地方の地震（深さ9km、M5.8：上図の範囲外）により、熊本県産山村で震度5強を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市・米子市・境港市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は3回（前月は4回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、12日21時27分に発生した地震（上図のNo.2）は島根県でのみ震度が観測されています。

また、20日10時35分に発生した地震（上図のNo.3）は島根県と広島県で震度が観測されています。

[震源リスト（震央分布図内のM2.0以上の震源リスト）]

No.	発震時（年月日時分）	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	最大震度
1	2025年11月10日06時21分	鳥取県中部	35° 20.4' N	133° 40.8' E	6	2.1	-
2	2025年11月12日21時27分	島根県東部	35° 10.5' N	133° 7.8' E	8	2.4	1
3	2025年11月20日10時35分	島根県東部	35° 7.6' N	133° 8.4' E	6	2.5	1

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

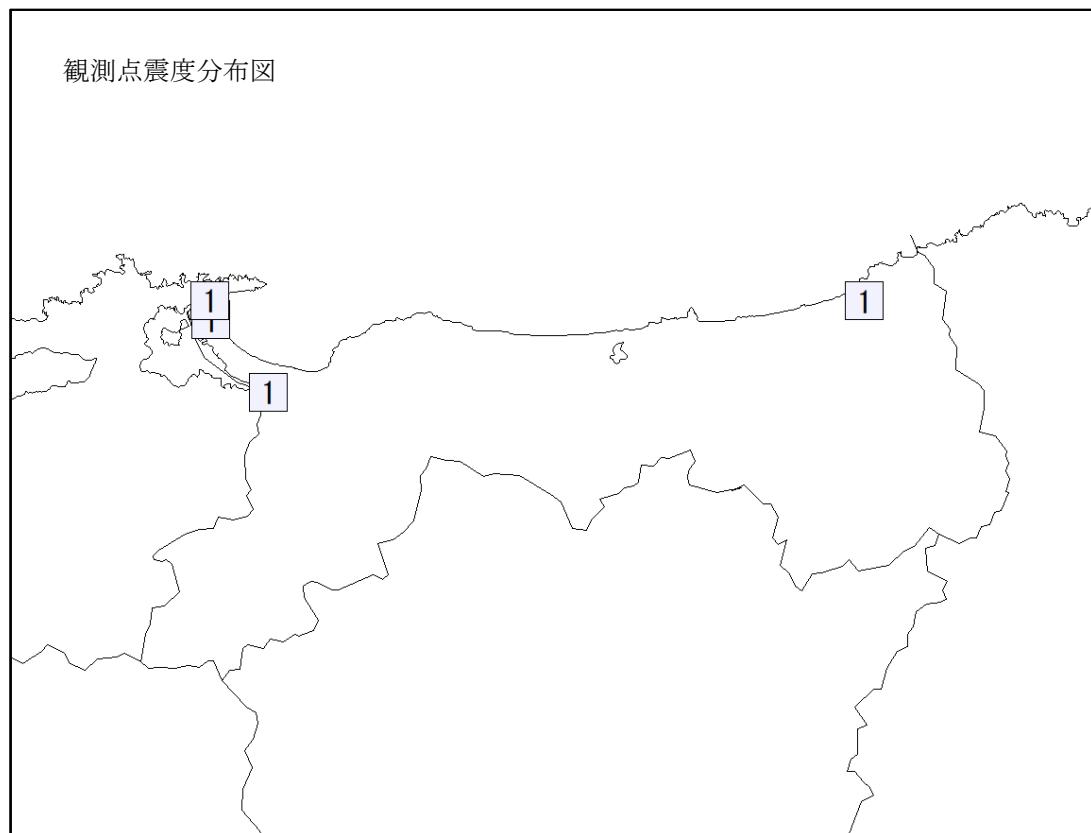
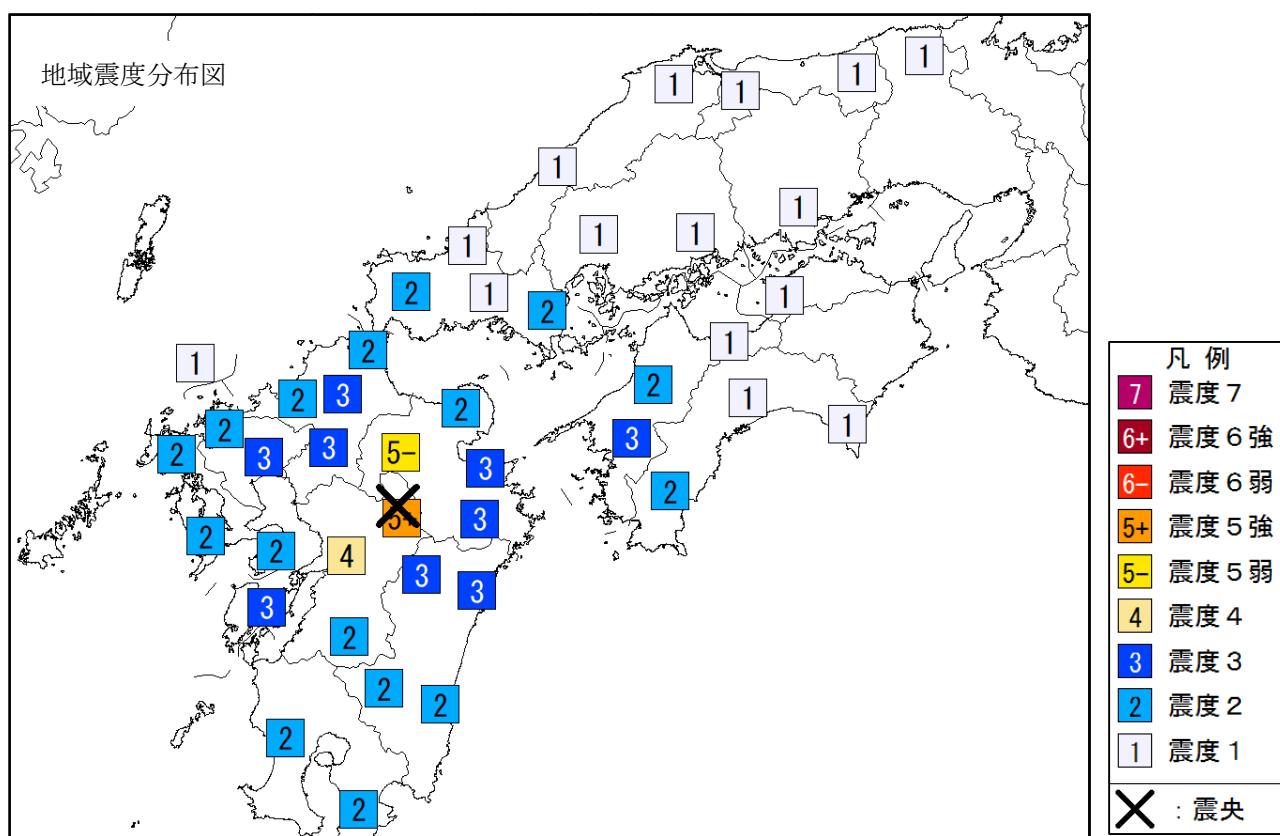
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2025年11月25日18時01分	熊本県阿蘇地方	32° 59.8' N	131° 06.4' E	9km	M5.8
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 米子市東町*, 境港市東本町, 境港市竹内町*					

・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）]

2025年11月25日18時01分 熊本県阿蘇地方の地震



(3) 地震・津波の知識

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震で、過去には、想定震源域内の全域を震源域とした地震が発生したことがあるほか、東側半分の領域で大規模地震が発生し、時間差をもって残り西側半分の領域でも大規模地震が発生したこともあります（図 1、図 2）。

昭和東南海地震（1944 年 12 月 7 日）では発生から 2 年後に昭和南海地震（1946 年 12 月 21 日）が発生しています。2026 年は昭和南海地震発生から 80 年が経過します。また、昭和東南海地震と昭和南海地震はどちらも 12 月に発生しています。今月号（2025 年 12 月発行）では、南海トラフ地震に対する備えの一つとして、南海トラフ地震臨時情報（以下、「臨時情報」という。）について解説します。

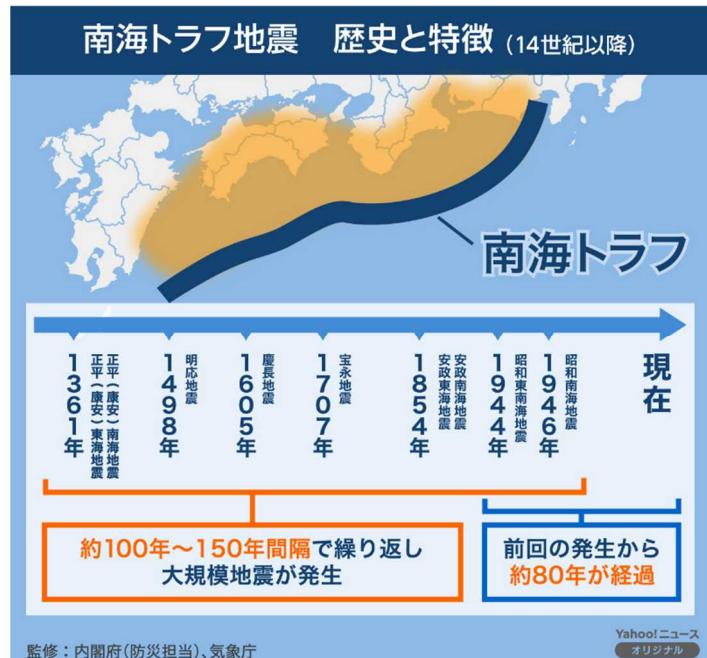


図1 南海トラフ地震の歴史と特徴
(気象庁 HP※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません)

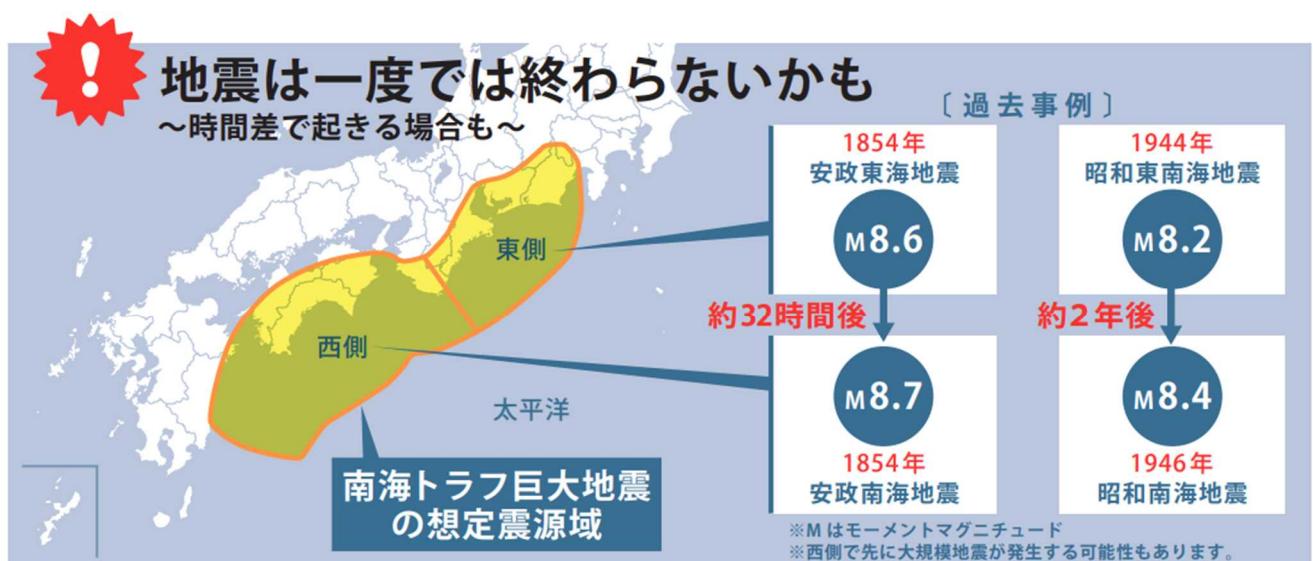


図2 過去の南海トラフの地震

臨時情報は、南海トラフ沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生した場合等に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に発表する情報です。臨時情報を発表する現象は図 3 の 3 ケースで、先発地震の発生場所や規模等によ

って（巨大地震警戒）や（巨大地震注意）等のキーワードを付して発表します（図4）。

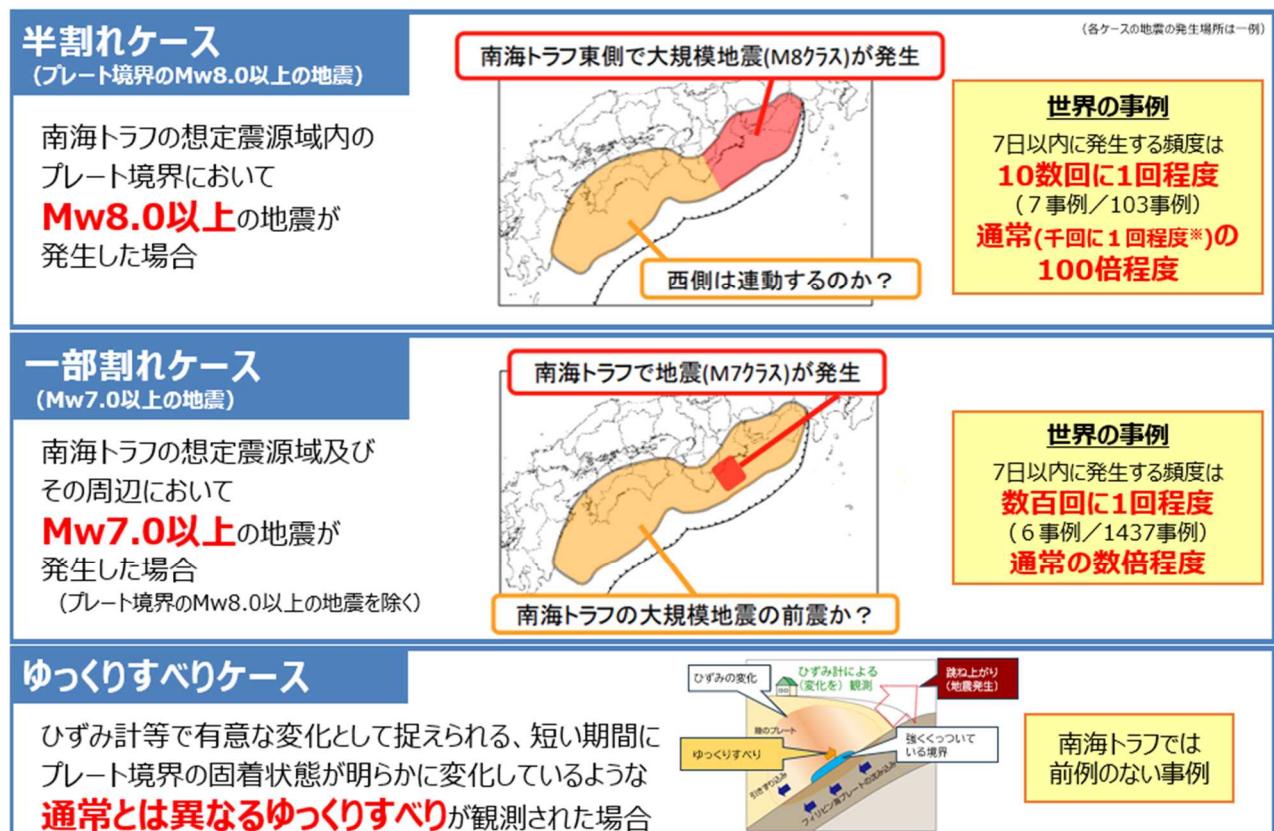


図3 臨時情報が発表される現象

※Mw:モーメントマグニチュード 震源断層の面積とすべり量等から求められ、地震波の最大振幅から求められる他のマグニチュードと異なり、頭打ちになることはなく、国際的にも共通して広く用いられている。なお、このマグニチュードを求めるには若干時間が必要である。

※通常時とは、30年以内に80%程度の発生可能性があるとされる状況で、千回に1回程度はこの確率を7日以内に換算したもの

2024年8月8日16時42分、南海トラフ地震の想定震源域内で発生した日向灘の地震（深さ31km、マグニチュード7.1）により、気象庁は同日19時15分に令和元年5月31日の運用開始以降、初めて臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。

南海トラフ地震 臨時情報	
キーワード	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ沿いで観測された異常な現象と南海トラフ地震との関連性について調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
調査中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ沿いで観測された異常な現象と南海トラフ地震との関連性について調査を開始した場合、または調査を継続している場合
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw7.0 以上、Mw8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲で Mw7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界面でひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測されたと評価した場合
調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

図4 臨時情報の発表条件・キーワード(気象庁・内閣府作成リーフレット「南海トラフ地震-その時の備え-」より)

臨時情報発表時には、政府や自治体などから呼び掛けられる、臨時情報のキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了）に応じた防災対応（図5）をとることが大切です。なお、既に発生した地震に伴う津波警報等が発表されている地域では、津波への防災行動を最優先とし、避難情報に留意するとともに警報が解除されるまで安全な場所にとどまり続けてください。

南海トラフ地震はもしかしたら明日にも起こるかもしれません。南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、南海トラフ地震発生の可能性の相対的な高まりについてお知らせする臨時情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。そのため、「日頃からの地震への備え」（図6）を実施することが大切であり、大きな地震が起きた時はまずは自分の身を守る行動を取りましょう。



図5 「臨時情報」のキーワードに応じた防災対応の概要
(気象庁 HP:※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません)



図6 日頃からの地震への備えの概要
(気象庁 HP:※Yahoo!ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません)

参考：気象庁ホームページ

- ・知識・解説>南海トラフ地震について
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nseq/index.html>
- ・知識・解説>「南海トラフ地震に関連する情報」について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nseq/info_criterion.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和7年11月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313